

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～22 台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の36%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1トンの水揚げで、前週の71%（前年並み）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり4.7kgの水揚げで、前週の80%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり6.43kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、マイワシなどが1日1統当たり2.78kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり4.45kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マサバなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり3.24kgの水揚げで、前週の38%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり1.6kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/15～5/20の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、アカイカ漁、北太平洋出漁中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、4日延28隻、総計1,124箱、1航海最高84箱、平均40.1箱。スルメイカ（20～30入）1,091箱、ケンサキイカ（2～3立）33箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>